



播種適期は7月上～中旬です!!

梅雨時ですが、**雨の合間を見て計画的に播種**しましょう!

★出芽率向上、生育量確保のポイント★

ポイント1:排水対策

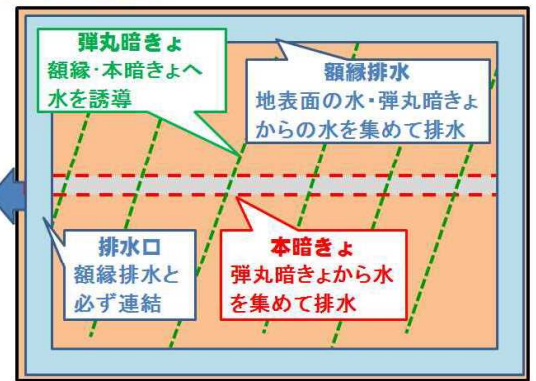
事前に「排水対策」をしておけば、雨間の作業が可能になります。さらに、湿害による出芽率低下も防げます。

対策1：播種前の営農排水対策

未実施の圃場は、速やかに額縁排水や弾丸暗渠を施工しましょう。

なお、麦作の営農排水はそのまま利用可能です。圃場外まで排水溝がつながっているか確認し、播種作業に備えましょう。

排水対策の基本



対策2：畦立て播種で表面排水力をアップ!

播種直後は水に特に弱く、出芽不良・生育不良の大きな原因です。

畦立播種で**種子の冠水を回避**しましょう!

畦立て播種



ポイント2:適期播種

増収の近道は、適期播種です。

適期を逃した場合は、**播種量を増やし**、必要な出芽数を確保しましょう。

表1 播種時期別の株間

標高200m以下 播種期	播種量kg/10a (めやす)	条間cm	株間cm
早播 6月中～下旬	3	70	25～35
適期播 7月上～中旬	5	70	20～25
晩播 8月上旬まで	8	70	13～20

注)一株2本仕立ての播種量。点播の間隔は播種機により異なりますが、上記を参考に調整してください。

ポイント3:天候をみて播種深度の調整 (出芽をよくする秘訣です)!

■適正な深さ：3cm程度

播種後に**降雨の場合** → **湿害を回避** → **浅め(2cm)**で播種

播種後に**乾燥の場合** → **出芽遅延を回避** → **深め(5cm)**で播種+強めの**鎮圧**

※播種直後に大雨が予想される場合、作業を見合わせましょう!

～種子消毒、除草剤散布も忘れずに～
使用薬剤は栽培暦をご覧ください

中部振興局 集落営農・水田班
Tel:097-506-5791